

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合英語Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0047		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	物質化学工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	【教科書】『SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST 1』(桐原書店)、TOEIC Listening&Reading 公式ボキャブラリーブック (IBC)、プリント教材				
担当教員	紙谷 智				
到達目標					
①TOEIC TEST形式の問題演習を通して、TOEICの形式に慣れること、文法事項の定着、読解力・リスニング力の向上を目指す。 ②読解やリスニングに必要な語彙、フレーズを増やす。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
語彙・文法力	英語を読む、書く、聞く、話す際に必要となる語彙・文法・構文が十分身につけている。		英語を読む、書く、聞く、話すことが概ね可能な語彙・文法・構文が身につけている。		語彙や文法力が不足していて、英語を読む、書く、聞く、話すことが困難である。
読解力	まとまった英文を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえることができる。		まとまった英文を読んで、情報や書き手の意向などを部分的に理解し、概要や要点を大まかにとらえることができる。		まとまった英文を読んで、文章全体の概要や要点をとらえることができない。
聴解力	英語を聞いて、情報や話し手の意向などを十分理解し、概要や要点をとらえることができる。		英語を聞いて、情報や話し手の意向などを部分的に理解し、概要や要点を大まかにとらえることができる。		英語を聞いて、単語など断片的に理解できるが、概要や要点をとらえたりすることはできない。
発音・音読	英語の音声的な特徴に注意しながら発音することができ、まとまりのある文章を聞き手に伝わるように、音読したり暗唱したりできる。		単語はほぼ正確に発音することができ、まとまりのある文章を、語句の切れ目を意識して音読できる。		正しく発音できる単語もあるが、まとまりのある文章を、語句の切れ目を意識して音読することができない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	TOEICテスト形式の演習を行いながら、語彙を増やし、文法・構文の知識を定着させる。また、聞き取りや発音練習、音読を通して、聴解力を向上させる。				
授業の進め方・方法	講義及び演習				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・予習(毎時指定する)をして授業に臨むこと。 ・教科書、ノート、英和辞典を持参すること。 ・復習をして、文法や語彙の定着を図ること。 ・付属音声(HPよりダウンロード)を活用し、リスニングや音読の練習をすること。 ・授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、ミニテスト	授業概要説明、ミニテスト	
		2週	Unit1 Daily Life	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		3週	Unit1 復習/Unit2 Places	Unit1 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		4週	Unit2 Places	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		5週	Unit2 復習 / Unit3 People	Unit 2 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		6週	Unit3 People	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		7週	Unit3復習 / これまでの学習の総復習	Unit 3 Reviewと単語テスト Unit 1～3の学習を振り返り、理解を確認する	
		8週	中間試験	学習範囲の試験	
	2ndQ	9週	中間試験の返却・解説 Unit4 Travel	中間試験の解説をきき、理解の度合いを確認する テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		10週	Unit4 Travel	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		11週	Unit4 復習 / Unit5 Business	Unit 4 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		12週	Unit5 Business	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		13週	Unit5 復習 / Unit6 Office	Unit 5 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		14週	Unit 6 Office / これまでの学習の総復習	Unit 6 Reviewと単語テスト Unit 4～6の学習を振り返り、理解を確認する	
		15週	期末試験	学習範囲の試験	
		16週	期末試験返却、アンケート 夏期休業中の課題について	期末試験の解説をきき、理解の度合いを確認する	
後期	3rdQ	1週	後期の授業について 課題テスト Unit7 Technology	授業概要説明 夏期休業中の課題テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		2週	Unit7 Technology	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	
		3週	Unit7 復習 / Unit8 Personnel	Unit 7 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する	

4thQ	4週	Unit8 Personnel	テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	5週	Unit8 復習 / Unit9 Management	Unit 8 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	6週	Unit9 復習 / Unit10 Purchasing	Unit 9 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	7週	Unit10 復習 / Unit11 Finances	Unit10 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	8週	Unit11 復習 / これまでの学習の総復習	Unit11 Reviewと単語テスト Unit7～11の学習を振り返り、理解を確認する
	9週	中間試験	学習範囲のテスト
	10週	中間試験返却 Unit12 Media	中間試験の解説をきき、理解の度合いを確認する テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	11週	Unit12 復習 / Unit13 Entertainment	Unit12 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	12週	Unit13 復習 / Unit14 Health	Unit13 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	13週	Unit14 復習 / Unit15 Restaurants	Unit14 Reviewと単語テスト テーマに沿った語彙、フレーズを習得する
	14週	Unit15 復習 / これまでの学習の総復習	Unit15 Reviewと単語テスト Unit12～15の学習を振り返り、理解を確認する
	15週	学年末試験	学習範囲の試験
	16週	学年末試験返却、アンケート	学年末試験の解説をきき、理解の度合いを確認する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
			英語運用能力の基礎固め	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
		英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3				
		英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3				
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3				
		関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3				
		関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3				
		分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
					実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
					日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
					他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
					他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
					日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
					円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	

				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト	提出物・態度	合計
総合評価割合	70	15	15	100
基礎的能力	70	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0